

科目名	情報リテラシー実践 C		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		後期				
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-203-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	コンピュータ上での画像・音・映像等に関する基礎知識を学び、作成および活用に取り組む。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・画像・音・映像等のメディア表現に関する基礎を理解する（幅広い教養としての知識・理解、倫理観・社会的責任の自覚） ・画像・音声・映像処理ソフトウェアを用いた具体的な処理方法を身につける（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、情報活用能力、総合的問題思考力） 					
授業計画・内容 授業方法	<p>【画像の基礎と処理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス、デジタル画像とは 2. ラスター（ビットマップ）画像とは 3. 領域の選択、レイヤーの操作 4. ラスタ画像の合成、エフェクト 5. ラスタ画像の課題作成 6. ベクター画像とは 7. ベジエ曲線、画像のトレース 8. 立体感のある画像の作成 9. 文字の加工、フィルタ 10. ベクター画像の課題作成 <p>【音・映像の基礎と処理】</p> <p>以下の学習内容については、担当教員により異なる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. デジタルサウンドとは 12. 音の種類と波形、編集、エフェクト、MIDI音源、ボーカルシンセサイザー、音のプログラミング 13. 映像とは 14. 映像の種類、編集、エフェクト 15. 音・映像に関する課題作成 					
授業外学習	<p>担当教員が公開する資料（プリントやPDFファイルなど）を用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p> <p>メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。</p> <p>http://www.comp.tmu.ac.jp/e-learning/kibaco_guide.html</p>					
テキスト・参考書等	<p>担当教員が資料（プリントやPDFファイルなど）を公開する。</p> <p>クラスによっては別途、参考書などを指示される場合がある。</p>					
成績評価方法	<p>授業への積極的な参加、提示される課題、情リテ情報倫理テストなどの観点から総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加では、専門性の高いソフトウェア操作について説明を聞いた上で、実習を通じて習得しようとしているかを評価する（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、情報活用能力） ・課題では、画像・音・映像等におけるメディア表現を理解して制作できているかを評価する（総合的問題思考力）また、制作にあたり第三者の著作物を活用している場合は、著作権について配慮できているかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、倫理観・社会的責任の自覚） ・情リテ情報倫理テストでは、著作権・肖像権への十分な理解を確認する（倫理観・社会的責任の自覚） 					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<p>前期の情報リテラシー実践ⅠまたはⅠAの内容を十分に理解していること。</p> <p>本授業では、無償で利用できるオープンソース・フリーソフトウェアを活用するが、担当教員によって扱う内容が異なるため、履修の方法と併せて教務課の掲示を確認すること。</p>					